

民有林における間伐の施業事例

事業名 環境貢献林整備事業

市町名 神石高原町

取組のきっかけ・経緯

- ・人工林を管理する必要性を知っていたが、定期的な手入れが出来ていないため、林内が暗くなっていた。
- ・森づくり事業を利用して、間伐をおこなった。

今後の展開

- ・定期的な森林管理を実施する。

取組の内容

- ・事業主体： 山林所有者
- ・実施場所： 神石高原町小畠
- ・業務委託先： 林業事業者
- ・業務(実施)量： 間伐面積0.77ha
- ・業務金額(事業費総額)： 383,000円
- ・業務(実施)期間： 令和5年9月
～令和5年12月

取組後の感想

【良かった点】

- ・森林内が明るくなり、良質な木の成長が期待できる。

【整備後】 森の中に陽光が入りました！



【整備後】 整然と並んだ美しい人工林です。



道路周辺の雑木山を伐採した事例

事業名 里山林整備事業(環境改善型)

市町名 神石高原町

取組のきっかけ・経緯

・道路沿いに雑木が茂ってしまい、集落や周辺の景観に暗い印象を与えていた。

今後の展開

・管理しやすくなったため、定期的に雑木の伐採などの維持管理に努める。
・集落にも近く、周辺環境が明るくなり、周辺の景観が改善された。

取組の内容

- ・事業主体: 山林所有者
- ・実施場所: 神石高原町高光
- ・業務委託先: 神石郡森林組合
- ・業務(実施)量: 0.14ha
- ・業務金額(事業費総額): 1,065,000円
- ・業務(実施)期間: 令和5年9月
～令和5年12月

取組後の感想

【良かった点】

・整備をきっかけとして、集落として周辺の森林整備を広域的、一体的に取り組むことを考える機会となった。

【整備前】



【整備後】



瀧之飛山を整備した事例

事業名 特認事業(地域資源保全活用事業)

市町名 神石高原町

取組のきっかけ・経緯

・地域の歴史を広く周知し後世に伝えるため、瀧之飛山で学習会の開催や様々な来訪者を安全に迎えられよう、作業道や未整備により荒廃した森林の整備を行う。

今後の展開

・作業道整備や定期的に雑木の伐採などの維持管理に努める。

取組の内容

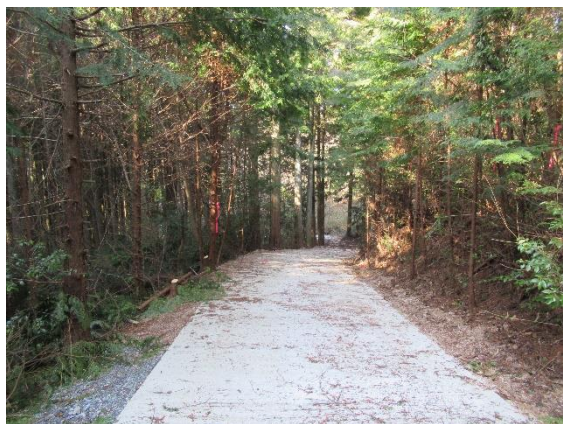
- ・事業主体: 地域自治振興会
- ・実施場所: 神石高原町桑木
- ・業務委託先: 神石郡森林組合
- ・業務(実施)量: 517㎡
- ・業務金額(事業費総額): 5,600,000円
- ・業務(実施)期間: 令和5年9月
～令和6年3月

取組後の感想

【良かった点】

・整備をおこない、災害の危険が減少し、地域の方が安全や山林について考える機会となった。

【路面舗装施業後】



【森林整備施業後】



山地災害危険区域の伐採事例

事業名 特認事業(里山林防災整備事業)

市町名 神石高原町

取組のきっかけ・経緯

・同箇所が急傾地崩壊危険区域や山地災害危険区域に指定されており、危険木の除去及び根系発達を促すことで土壌緊博力を高め斜面の崩壊が発生しにくい森林とするため、特認事業を活用した。

今後の展開

・管理しやすくなったため、定期的に雑木の伐採などの維持管理に努める。

取組の内容

- ・事業主体: 地域自治振興会
- ・実施場所: 神石高原町福永
- ・業務委託先: 株式会社イトー
- ・業務(実施)量: 0.2ha
- ・業務金額(事業費総額): 2,738,000円
- ・業務(実施)期間: 令和5年6月

【整備前】



取組後の感想

【良かった点】

・整備をおこない、災害の危険が減少し、地域の方が安全や山林について考える機会となった。

【整備後】



学校通学路の危険木を伐採した事例

事業名 特認事業(里山林防災整備事業)

市町名 神石高原町

取組のきっかけ・経緯

・通学路であり学校用地に係る箇所の危険木が問題となっていた。

安全確保及び文化財保護の観点から危険木の伐採に特認事業を活用した。

今後の展開

・管理しやすくなったため、定期的に雑木の伐採などの維持管理に努める。

取組の内容

- ・事業主体: 地域自治振興会
- ・実施場所: 神石高原町高光
- ・業務委託先: 株式会社イトー
- ・業務(実施)量: 0.45ha
- ・業務金額(事業費総額): 4,499,000円
- ・業務(実施)期間: 令和5年6月～
令和5年7月

取組後の感想

【良かった点】

・整備をおこない、災害の危険が減少し、地域の方が安全や山林について考える機会となった。

【整備前】



【整備後】

